

広島市歯科医師会だより



12 月号

Hiroshima City Dental Association

No.164 (R2.12.10)



目次

新型コロナウイルス感染対策啓発ビデオ「不安な？歯医者」作成、YouTube 上で公開	1 ページ
行事報告	
第 1 回 学術講演会	2 ページ
令和 2 年度「8020」いい歯の表彰式ならびに「グランドビューティフル歯ツシヨン賞」認定証授与式	3 ページ
Web 公開講座「子どもの食べる機能の発達を支援するために」	4 ページ
令和 2 年度 広島市学校保健会 第 2 回 理事会及び表彰審査委員会	5 ページ
支部だより	
中区支部	6 ページ
東区支部	6 ページ
西区支部	7 ページ
各部委員自己紹介(厚生部・地域歯科保健部) (高橋由佳委員・岡崎文彦委員・光山素夫委員)	8 ページ
各部からの報告	
広島市医療安全推進協議会よりーこんな医療トラブルが起きていますー(総務部)	11 ページ
今月の知っておきたいこと(広報部)	12 ページ
誰もが納得！ I L♥ve 広島弁じゃけえ。(広報部)	15 ページ
広報部からの豆情報(広報部)	16 ページ
FM ちゅーピー(広報部)	17 ページ
チャンネル登録をお願いします！(広報部)	17 ページ
会長コラム『柔しく剛く』不安な？歯医者	18 ページ
新型コロナウイルス感染症対策、本会のこれまでの取り組み	19 ページ
会員ひろば	
新入会員紹介	20 ページ
11 月定例理事会報告	21 ページ

新型コロナウイルス感染対策啓発ビデオ 「不安な？歯医者」作成、YouTube 上で公開

広島市が立ち上げた、新型コロナウイルス影響事業者緊急支援事業「広島は決して屈しない！プロジェクト」から得た助成金を用いて標記ビデオを制作した。11月20日にYouTube上(【公式】広島市歯科医師会広報チャンネル)に公開。

なお、この「広島は決して屈しない！プロジェクト」は、動画作成費用に加え、この事業の交付を受けたプロジェクトにおいて、影響事業者が感染拡大防止を図りながら営業活動を回復していくのに必要となるマスク等について10割の助成を別途受けることが可能のため、400万円分のN95マスク費用の助成を受け、本会会員に配布した。

市民に対して、歯科医院は従前より感染症対策をきちんと行なってきたおり、歯科治療によるコロナ感染のリスクは極めて低いこと、受診抑制によりおくちの健康レベルが下がると感染症に罹患した場合の重症化リスクが高くなること、を広く啓発することを目的に、広島出身タレントを登用して制作した。



動画の1シーン(ん？どこかで見たような顔・・・) と QRコード

上記のQRコードを読み取っていただければYouTubeの【公式】広島市歯科医師会広報のチャンネルにジャンプしだれでも視聴可能となっている。多くの歯科医師、市民県民にご覧いただきたいと思う。

(可能ならばチャンネル登録もお願いします。)

行事報告

第1回 学術講演会

日時：10月17日(土) 午後5時

場所：県歯会館2階「ハーモニーホール」

新型コロナの影響で、広島市歯科医師会の行事が軒並み中止や延期している中、久しぶりに標記の会が開催された。田代浩史先生(静岡県浜松市開業)に「コンポジットレジン修復の新たな臨床活用」と題してご講演頂いた。参加者は60人だった。

コンポジットレジン修復における8つのステップに沿って理論的な話を頂いた。8つのステップは①修復前準備②窩洞形成③修復補助④接着操作⑤積層充填⑥光照射⑦形態修正・研磨⑧維持管理・補修であり、それらのステップにおいて、実際に田代先生が使用している具体的な製品名の名前を示し、それぞれについて大事なことを順に説明頂いた。

①修復前準備：初期う蝕審査、充填用シリコーンガイドの作成方法等

②窩洞形成：う蝕検知液の種類と分子量の違いにより適した使い分け、回転切削器具の使用回数制限、スプーンエキスカベータでの感染象牙質除去方法、切削器具の選択による窩縁部コンディションへの影響等

③修復補助：CR 修復用のボンディング材の接着を妨げない止血剤、防湿方法の違いによる充填時操作性への影響、トッフルマイヤータイプマトリックスや3D リテナーフュージョンの使用法と使い分け等

④接着操作：1ステップタイプと2ステップタイプの違い等

⑤積層充填：第1層～第3層まで使用するレジンの種類とその理由、積層充填方法の違いが窩洞底部の接着性能に与える影響、臼歯部、前歯部それぞれの積層充填の具体的な方法等

⑥光充填：照射力とレジンの色調による光強度の減衰とそれが象牙質接着性能に与える影響

⑦形態修正・研磨：研磨に時間を掛ければ良くなるわけだが、そもそも各社のレジンによりフィラーの形状が

違うので留意する、クリアマトリックス使用によるレジン未重合層の抑制効果があるので利用する等

⑧維持管理・補修：基本、保険でレジン修復治療が可能であれば保険内で行うが、難症例などは自費になる。レジン修復は材料費自体そこまで高いものではないので、患者さんに治療の価値を理解して頂くために自費でレジン修復を行う場合、しっかりと資料を作り説明を行うことが大事である。また経過観察の保証料を頂き、破損などがあった場合は無料で治療を行うシステムにしている。

その後、これらの理論を使用した症例供覧で実際の治療についての説明があった。理論と実践が絡み合って参考になる講演であった。

今回はコロナが下火の時期であった為、講師の方との打ち合わせを重ね当初の予定通り来広して頂いた。参加された先生方には受付において検温やアルコール消毒をお願いし、キープディスタンスを取り着席頂くという今までの講演様式とは少し異なる状況ではあったと思うが、お陰様で滞りなく開催出来ることができ、感謝申し上げます。

次の学術講演だが、本年度5月より延期していた講演を2021年5月9日(日)に行う予定としている。コロナの感染拡大状況を見定めつつ、熊本市で開業されている永田省藏先生に「欠損歯列の捉え方と処置方法～固定性と可撤性をどのように選択するべきか？」と題して行う予定なので、ご興味のある先生は是非参加して頂きたい。



講演会の様子

令和2年度「8020」いい歯の表彰式ならびに 「グランドビューティフル歯ッション賞」認定証授与式

日時：11月6日(金) 午後1時

場所：広島市役所本庁舎 10階「市長公室」

標記表彰式ならびに認定授与式が、広島市8020運動・歯周病予防推進協議会(本会、安佐歯会、佐伯歯会、安芸歯会、広島市)の主催で松井一實広島市長臨席のもと開催された。この表彰式ならびに認定授与式は、例年広島市役所2階講堂にて多くの受賞者が参加して開催されるが、今年は新型コロナウイルス感染症の影響で代表者のみで、市長公室にて開催された。

初めに熊谷宏広島市歯科医療福祉対策協議会会長の挨拶があり、受賞者の方々へお口の健康のリーダーとして、地域の方や友人などへ、自身の経験をもとにお口の健康の大切さを広めていただくようお願いがあった。

続いて、松井市長の挨拶の後、表彰に移り、「8020」いい歯の表彰では男性292名、女性385名の計677名(本会管内262名)の表彰者があり、最高齢は99歳であった。そのうち各地区の代表者4名に表彰状と記念品が贈られた。

また、単に歯が綺麗というだけでなく常日頃からデンタルフロスや歯間ブラシを継続的に使い、歯周病予防に努める方を認定する「ビューティフル歯ッション賞」には1190名が認定され、その中から特に口腔の健康意識に優れている方を表彰する「グランドビューティフル歯ッション賞」に16名が認定され、その代表者2名に認定証と記念品が贈られた。

その後、渡辺好造広島市議会副議長から来賓祝辞があり、授賞式を終了した。

喜ばしいことに、今回「8020」いい歯の表彰を受賞された方の中に、以前グランドビューティフル歯ッション賞を受賞された方がいらっしまった。平成17年より継続してきた本事業の成果が表れたものと考えられ、本事業の重要性についてあらためて認識した。



(左) 表彰式の様子 (右) 表彰の様子

Web 公開講座 「子どもの食べる機能の発達を支援するために」

日時：11月9日(月)～15日(日)

田村文彦日本歯科大学教授による「子どもの食べる機能の発達を支援するために」と題する講演が、本会のWeb公開講座「子どもの食べる機能の発達を支援するために」としてYouTubeを利用して開催された(会員及び外部からの申込者への限定公開)。

これは本年5月に予定していた学校歯科医協議会の中で行われることになっていた講演会を、新型コロナウイルス感染症の蔓延状況を鑑み、オンライン開催としたものである。保育、教育関係者等にも公開され、それらからの申込者(施設)は282名に上った。また、視聴回数は950回に達した。

公開講座では熊谷宏会長の挨拶に続き、田村教授が「授乳・離乳の支援ガイド」改訂のポイント、早産・低出生体重児への配慮、乳幼児期の子どもの食べる機能の発達等について、豊富なデータや動画を交えながら詳しく解説した。そして、最後に瓜生賢副会長が閉会の辞を述べた。

受講者からはアンケートを通じて、「田村先生のご講演は、動画も多く、基本的な摂食機能の発達をわかりやすくご説明いただき、知識の整理ができました。ありがとうございました。明日からの摂食指導に役立てていきたいと思います。」などの声が寄せられた。関連する他職種からも、「とてもわかりやすかったです。保育園で働いていますが、個人差のある子どもたちに対してどうしたら

いいのかなと思うこともあり、口腔機能を勉強することはとてもためになりました。ありがとうございました。」「管理栄養士です。地域で乳幼児相談をする事がありませんが、食べる機能の成長に合わせた離乳食が進められていないと感じる事が多いです。ですが、根拠を含めて学ぶ機会が(大学でも)なかなかありませんでしたので、今回、歯科医の先生からのお話は大変勉強になりました。」等の好意的な感想が寄せられた。また、開催形式についても、「感染を心配せずに安心して参加することができる」、「自分の都合のよい時間に受講できるのは便利」、「理解が難しいところは何度でも視聴できるのが良い」など肯定的な意見が大勢を占めた。

来年度も新型コロナウイルス感染症の流行状況を考慮しつつ総合的に判断し、長期的な視点から広島市における学校歯科保健の進展に資する事業として講演会を開催したいと考えている。



挨拶する熊谷宏会長

令和2年度 広島市学校保健会 第2回 理事会及び表彰審査委員会

日時：11月20日(金) 午後7時15分

場所：中区地域福祉センター5階「大会議室」

標記の会が開催され、今年度の広島市学校保健功労者表彰・学校保健推進学校表彰、永年勤務の感謝状授与等の審査が行われた。その結果、本会会員からの本年度の受賞が下表の通り決定された。

例年は広島市学校保健大会において授賞式が執り行われるが、新型コロナウイルス感染症蔓延防止のため本年度の同大会は中止された。そのため、授賞式は各学校において行われることになった。

なお、本会議には熊谷宏会長及び有馬隆理事が出席した。

広島市学校保健功労者表彰

基町小学校	上川 克己 先生	己斐東小学校	椿田 直也 先生
中広中学校	三戸 敦史 先生	基町幼稚園	本山 智得 先生

永年勤務の学校歯科医に対する感謝状授与

舟入小学校	鎌田 一道 先生	尾長小学校	古宅 康久 先生
青崎小学校	小谷 博夫 先生	高須小学校	今田 和秀 先生
江波中学校	石嶋 誠司 先生		

支部だより

中区支部

中区支部支部長・副支部長連絡会

日時：11月12日(木)午後8時

場所：オンライン会議

今後の会議形態を模索する目的で、中区支部の波田佳範支部長と、香川次郎副支部長とでZoomを用いたオンライン会議が実施された。今年の新型コロナウイルス感染により、在宅ワークが普及したことを鑑み、当支部においてもその必要性が強く感じられた際での実施となった。

まずどちらかが会議を主催するホストをやり、一方は会議に参加するゲストという設定で、ホスト役はZoomで必要なミーティングID、パスコードの取得や、ゲストに対する案内。一方ゲスト役は招待を受けた時のZoomの参加手順を体験した。

波田支部長にとっては、初めてのZoom操作ということもあり、最初は中々うまくできなかったが、「習うより慣れよ」という思いで、Zoomの操作の要領を得たのであった。

今年の3月から、日本全体で新型コロナウイルス感染者が増加し、第3波の到来と言われた昨今において、

「県歯会館」での中区支部の幹部役員会の開催が困難になっている状況下で、今後は支部における重要な案件の会議はZoom使用が有効という、支部長・副支部長共通の認識が得られた。

この後波田支部長は、中区支部の幹部役員にZoomの設定をお願いしたのであった。



オンライン会議の様子

東区支部

東区若年性認知症に関する医療・介護など従事者研修会

日時：11月5日(木)午後4時

場所：東区総合福祉センター3階「大会議室」

標記の会が開催された。主催は広島市東区地域保健対策協議会、広島市東区医師会、広島市東区地域包括支援センター、広島市認知症地域支援推進員で対象者は医師、歯科医師、薬剤師、看護師、介護支援専門員、地域包括支援センター、健康長寿課であり、参加者は会場での参加が58名、リモートでの参加が41名の計99名であった。

福田知枝広島市認知症地域推進員の司会進行で、50代女性の若年性認知症の事例が6名の様々な職種(高田和美居宅介護支援事務所「ひろしま」介護支援専門員、勝見華恵就労支援センター「みらいえ」サービス管理責任者、桂

裕子認知症支えあいカフェよりみち店長、可児登志子ガイドヘルパー、金井さおり在宅生活継続支援事業相談支援員、小川智美二葉地域包括支援センター主任介護支援専門医)の視点から報告された。若年性認知症は従来の認知症への対応とあわせ就労支援を行っている。今回の事例も様々なサポートを基に、就労しながら独居での在宅生活を継続していた。質疑応答および意見交換の後に若年性認知症についての講演およびこの事例の総評が主治医である井門ゆかり井門ゆかり脳神経内科クリニック院長によって行われた。あわせて今回この事例のご家族からこれまでの経過

や日常的に感じていること、さらに今後への不安や期待などが紹介された。最後に金谷雄生東区地域保健対策協議会会長(東区医師会会長)の挨拶で閉会した。

なお、東区支部より野村登志夫支部長、竹本美保副支部長、宮村健一氏が参加した。



研修会の様子

西区支部

観音地域包括支援センター主催「介護予防教室」

日時：10月15日(木)午後1時30分

場所：南観音公民館2階「大集会室」

広島市西区南観音公民館にて、観音地域包括支援センター主催の「介護予防教室」が開催された。「知っておきたい!口腔ケア」と題し、岡田浩幸地域歯科保健部委員が、16名の西区南観音地区の住民に対して、講演を行った。

講演に先立ち、節目年齢歯科健診や妊婦歯科健診、在宅訪問歯科健診などの事業を説明し、本会の取り組みを紹介した。

講演では、フレイルの前段階であるオーラルフレイルを理解し、予防・改善できれば介護予防につながることを示した。オーラルフレイルのチェックや予防・改善方法を解説し、通常であれば参加者全員でオーラルディアドコネシスやペコぱんだの使用、お口の体操などを行う予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、反復唾液嚥下テスト(RSST)のみではあるが体験してもらった。また、オーラルフレイルは窒息や誤嚥性肺炎のリスクも高めるため、早期の改善が必要であることを説明した。

オーラルフレイルを予防するためには、一般的な口腔清掃を行う口腔ケアだけでなく、口腔機能の維持・改善のためにかみかみ百歳体操などの日頃からの運動が重要であることを説明した。また、歯科医院で行う介護予防として、広島市の総合事業である短期集中通所口腔ケアサービス

についても説明を行った。

さらに介護予防の観点からかかりつけ歯科医院をもち定期歯科健診を受けることを勧めた。

講演の最後に、新型コロナウイルス感染予防のために歯科受診を自身の判断で控えていると、糖尿病などの持病がある人は、歯周病が悪化するリスクを高めたり、口腔ケアの不足により細菌性の肺炎を引き起こし、ウイルス性肺炎が重症化しやすくなったりするため、かかりつけ歯科医に相談するよう勧め、本講演は盛況のうちに終了した。

今後も地域住民との関わりをもち、地域歯科医療に貢献できる活動を続けて行きたいと考えている。



介護予防教室の様子

各部委員自己紹介

高橋由佳委員

はじめまして。厚生部委員の高橋由佳と申します。
歯科医師会に入会して間もない頃、谷巖範先生にお声かけ頂き、厚生部に所属させて頂くこととなりました。

私は広島県福山市出身で、福岡歯科大学を卒業した後、約10年間の勤務医生活を経て、2020年4月、南区段原に『段原クレドデンタルクリニック』を開業致しました。

開業の約一年前、まだコロナウイルスの脅威とは無縁だった頃、私はダイビングライセンスを取得しました。

ダイビングライセンスとは、正式に「Certification Card(認定証)」、略して「Cカード」と言い、ダイビングに必要な知識とスキルを身につけた証明となります。体験ダイビングの場合はインストラクターの引率のもと限定水域内ではしか潜れませんが、Cカードを持っているともう少し深いところまでバディと一緒に潜ることができます。

私がライセンスを取得したのは2月の沖縄でした。2月の沖縄の平均気温は16℃から18℃くらいで、水温は20℃前後。気温よりも水温の方が高いのが特徴です。とは言え1年の中で最も水温が低い時期なので、やはり体感的にはかなり冷たく感じました。水温が低いと海中のプランクトンの量が減少するため水の透明度は高くなり、くっきりと見えるたくさんのサンゴや冬ならではのカラフルで神秘的な魚の群れに心奪われました。ライセンス取得後、伊江島という沖縄本島からフェリーで30分ほどで行ける離島でダイビングをしました。伊江島の海はダイナミックな地形が広がるエリアや真っ白な砂地が広がるエリアがあり、その海中景色に魅了されました。



カラフルな魚の群れ



クリアな海の中に咲き誇るサンゴ



真っ白な砂の上での1コマ

今はコロナ禍のため、旅行やアクティビティなどは感染に配慮して色々と制限されるため、以前のような楽しみ方は難しいかもしれませんが、いつかまた、必ず訪れたいです。今はコロナを避けて楽しめる新たなアクティビティを模索中です。

厚生部の目的である会員の福利厚生の実現に、微力ながら貢献できるよう邁進いたします。何卒、ご指導ご鞭撻のほど、宜しくお願い致します。

岡崎文彦委員

広島市歯科医師会会員の皆様、平素より大変お世話になっております。

本年度より地域歯科保健部に所属することとなりました、南区の岡崎文彦と申します。

私は広島県福山市で生まれ、すぐに広島市南区に引越し、翠町小学校、修道中・高等学校と広島市内で過ごし、平成18年に岡山大学を卒業、広島大学病院など口腔外科、病院歯科に勤務し、現在に至っております。

歯科医師会に入会した際には多くの先生方にご指導をいただき感謝しております。

さて、現在私には8歳、6歳、3歳と3人の子供がおり、仕事と家事、育児を妻と共に頑張っています。

子育ては楽しいのですが、やはり大変で、時には息抜きが必要です。子供達が祖父母の家に遊びに行きたい!となると積極的に預けます(笑)。妻と2人になったその時間を使い、私たちがはまっていることがあるので紹介したいと思います。それはスポーツジム通いです。

むかしからずっと小太り体型な私にとって、スポーツジムとは切っても切れない関係で、淡々と水泳や筋トレをしておりましたが、楽しくはありませんでした。

年を取るにつれて更に太り、病気になり、入院治療も経験し、仕事にも家庭にも迷惑をかけていました。何とかしないといけないと考えていた時、職場の同僚の誘いがきっかけでスタジオプログラムに出るようになりました。

このプログラムはノリのいい音楽が流れ、リズムに合わせてバーベルによる筋トレや格闘技の動きなどをインストラクターに合わせて行います。参加者との一体感があり、強度を自分に合わせて変えられるので、その日の調子によって身体を追い込むことができます。



一緒に頑張っている仲間、インストラクターとの記念撮影



コロナウイルス前ですが、仲間のヘアバントをこっそりつけた写真

さらにジム仲間ができました。ジム以外の共通点はない、20～60歳代と幅広い年齢層で、性別、職業もバラバラですが、一緒に汗を流し、楽しんでます。今はコロナウイルスの影響でできていませんが、定期的に飲み会をしていました。そして何より妻との共通の話題が増えました。

また、他県でも同じプログラムをしている施設があり、所用で訪れた際にはいくようにしています。そこでも人との交流があり、雰囲気が違うので楽しめます。体重は減りませんが・・・、肝機能は正常値に戻り、血圧も安定し、身体の変化も楽しんでます。

以上、私のはまっていることでした。

今後とも宜しくお願い致します。

光山素夫委員

広島市歯科医師会の皆様、こんにちは。この度お声がけ頂き、地域歯科保健部に所属しました中区の光山素夫と申します。

神崎小、江波中、国泰寺高と広島で過ごし、平成18年に松本歯科大学を卒業の後、勤務医を経て平成23年より実家で父と共に働くこととなりました。昨年歯科医師会に入会した際には多くの先生方にご指導をいただき感謝しております。

学生時代は日本拳法部に所属し仲間と共にデンタルに向けて汗を流しておりましたが、今ではケガが怖くなかなか格闘技に気が向きません。仲が良かったハードパンチャーの同期は手を痛めて実習中タービンを握りながら眉間にシワを寄せていました(笑)。

そんな中、気分転換に始めたのが、手をケガする心配も無くリフレッシュできるランニングです。2週間に1回程度ののんびりしたペースですが、体も頭もスッキリするので10年近く続いています。川沿いの平坦な道や江波山の坂道などコースを変える楽しみもあり、同じ趣味の先生方にオススメのコース等教えていただけると幸いです。



休日診療所で慣れない自撮りで変な顔になりますよね？(笑)

もう一つ趣味といいますか日常的に行っていることと言えば料理でしょうか。

元々は患者さんから頂いた食材を無駄にしないためだったり、酒類を頂くこともあるので合わせられる簡単なものを作るために始めたことですが自分の体調管理にも役立っております。だんだんオッサンになるにつれて胃もたれすることも多くなり(同意して頂ける先生おられませんか？笑)、そんなときにはキャベツの千切りか大根おろしでスッキリしております。

大学のそばの家系ラーメンに足繫く通っていたあの頃のタフな胃袋はもう戻ってこないんだなあ…と時の流れを噛みしめつつ、診療に会務に精進して参りますのでこれからもご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



回鍋肉を作りつつ大根おろしも
欠かせません(笑)

各部からの報告

総務部

広島市医療安全推進協議会より —こんな医療トラブルが起こっています—

広島市医療安全支援センターに寄せられる苦情・相談の現状について具体的相談事例を報告します。なお、個人情報保護の観点から、相談者の個人特定が行われなように、相談内容に関しては、若干の修正を加えております。

事例1：インプラントについて

インプラント治療を始めて、なんども装着したり外したりを繰り返し、偏頭痛も生じ、口内炎も繰り返すため、治療終了を希望したが拒否された。他院にも相談したが途中からは、治療できないと言われた。どうしたら良いか？

(センターの対応)

契約書はなく、詳しい説明は受けていないとのこと。インプラントに関しては、医院によってやり方が違うため、他の歯科では対応が難しいことがあると説明。第三者に仲介してもらい今後のことを話し合い、書面にしておくしかないと伝え、医療ADRを紹介する。

(コメント)

インプラント治療はトラブルになりやすいため、想定される有害事象も含め説明をしっかりと行いましょう。また、契約書を取り交わすことが医院と患者双方の安心につながります。患者の不安や不満には真摯に向き合いたしましょう。

事例2：治療に対する不満

かかりつけ歯科で同意も得ずに歯を削られ、色の違う差し歯にされた。抗議したが聞く耳を持たない。

他の歯医者を受診したところこれはちょっとあり得ないと言われた。指導してもらいたい。

(センターの対応)

医療安全支援センターには、指導権限はないことを伝え、医療ADRを紹介する。

(コメント)

患者が納得して治療を受ける為に、治療説明は十分に行い、最終的にどのような補綴物を装着するかなども説明する必要があります。また、他院批判はトラブルにつながりやすいので、他院の治療の説明を行うときは、誤解のない表現を心懸けましょう。

事例3：薬のアレルギーについて

智歯を抜歯した際に、薬剤アレルギーについて、問診票やお薬手帳で伝えたにも関わらず、アレルギーがある薬を出された。下痢や、薬指の爪が黒く血が滲んだようになり、内科受診で薬の副作用といわれた。歯科医院に連絡したが、謝罪もなく、納得いかない。歯科医師を指導してほしい。

(センター対応)

医療安全支援センターは、歯科医師への指導権限はなく、無料法律相談と歯科医師会の連絡先を教えて欲しいと言われたので、連絡先を案内した。下痢は治ったとのことだが、まずはお薬手帳にアレルギーの薬名を赤字で書き、医師や薬剤師への再確認、院内処方でも確認が必要と思うと伝えると、やや納得された。

(コメント)

投薬の際には、患者にも直接、薬剤アレルギーの確認をしましょう。

また、異常があった際には、すぐ連絡するよう患者に伝え、副作用を疑う相談には薬剤の中止や変更も検討しましょう。

記事の詳細確認は自己責任にてリンク先でお願いします。

最新記事はホームページにてご覧ください。各記事の [QR コード](#) をスマートフォン等で読み取っていただければ、該当記事のページにアクセスできます。(リンク切れはご容赦願います。)

新型コロナウイルスに関する最新の情報はこちらをご参照ください

内閣官房 新型コロナウイルス感染症対策

<https://corona.go.jp>



厚生労働省 新型コロナ感染症について

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html



広島県 新型コロナウイルス感染症に関する情報

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/2019-ncov/>



広島市 新型コロナウイルス感染症に関する情報

<https://www.city.hiroshima.lg.jp/site/korona/>



今月の知っておきたいこと

▼いわゆる「飲み会」における集団感染事例について

国立感染症研究所 (2020年11月22日)

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/diseases/ka/corona-virus/2019-ncov/2484-idsc/9941-covid19-26.html>

2020年10月15日現在、国立感染症研究所実地疫学専門家養成コース(FETP)は新型コロナウイルス感染症(COVID-19)クラスター対策班として35都道府県からのべ121事例のCOVID-19集団発生事例に対する調査派遣依頼に対して、都道府県、管轄保健所とともに実地疫学調査を実施してきた。今後のCOVID-19対策に資する情報提供を目的として、これまでFETPが関わった実地調査支援活動結果の中から特定の場所・状況下における感染伝播の状況をまとめて報告していく。今回は、いわゆる「飲み会」における集団感染事例についてまとめた。

(以下上記リンク先参照)



▼ファイザー社/ビオンテック社(BNT162b2)とモデルナ社(mRNA-1273)の2つの新型コロナウイルスワクチン これまでに分かっていることとまだ分かっていないこと

Yahoo! ニュース (2020年11月22日)

<https://news.yahoo.co.jp/byline/kutsunasatoshi/20201122-00209031/>

忽那賢志 | 感染症専門医 11/22(日) 11:09
ファイザー社/ビオンテック社(BNT162b2)とモデルナ社(mRNA-1273)による2つの新型コロナウイルスワクチンの



第3相試験の結果が発表されました。新型コロナワクチンは世界中で待ち望まれたものであり、いずれも「90%を超える効果」という素晴らしい結果のように思われます。この2つの新型コロナウイルスワクチンについて、私たちはどのように捉えればよいのでしょうか。

(以下上記リンク先参照)

▼ファイザー 新型ワクチン緊急使用許可を申請と発表

NHK NEWS WEB (2020年11月20日)

<https://www3.nhk.or.jp/news/html/20201120/k10012723861000.html>

アメリカの製薬大手ファイザーは、開発中の新型コロナウイルスのワクチンについて、アメリカの規制当局に対し、緊急使用の許可を20日に申請すると発表しました。アメリカの規制当局に緊急使用の許可を申請するのはファイザーのワクチンが初めてとなります。

アメリカの製薬大手ファイザーは、開発中の新型コロナウイルスワクチンについて、正式な承認の前に緊急での使用を可能にする許可を20日にFDA=アメリカ食品医薬品局に申請すると発表しました。ファイザーは、すでにアメリカをはじめとした世界各国で行っている臨床試験の最終的な効果の分析で「95%の有効性が見られた」と発表しているほか、健康への影響についても、安全性にまつわる重大な懸念は報告されていないとしています。



▼英アストラゼネカのワクチン、高齢者にも強い免疫



日本経済新聞 (2020年11月20日)

<https://www.nikkei.com/article/DGXMZO66451760Q0A121C200000/>

英製薬大手アストラゼネカと英オックスフォード大学が開発する新型コロナウイルスのワクチンが、高齢者にも強い免疫反応をもたらすことが分かった。英医学誌ランセットが19日、臨床試験(治験)の途中経過を公表した。新型コロナで死亡するのは高齢者が多く、ワクチンの効果が期待される。今回ランセットが公表したのは治験の第2相についての論文。より多くの人に投与する最終段階の第3相の結果を確認した上で、アストラゼネカは年内にも当局に申請して早期の実用化を目指す。日本政府は同社から1億2千万回分を調達する契約を結んでいる。論文によると、5月から8月にかけて行われた治験には18歳以上の560人が参加し、うち70歳以上は240人だった。高齢者も若者と同程度の強い免疫反応が確認され、深刻な副反応などはなかったという。新型コロナは高齢者や基礎疾患がある人の方が重症化しやすい傾向がある。米疾病対策センター(CDC)によると、米国の死者約20万人のうち、65歳以上は約8割を占めた。各国政府はワクチンが実用化されれば、高齢者などに優先接

ニュースピックアップ

▼次々に発表される新型コロナ消毒法 有効性、安全性は?

朝日新聞デジタル 2020年11月12日

https://www.asahi.com/articles/ASNC95334NBYPJLB004.html?ref=weekly_mail_top

新型コロナウイルスの消毒方法として、家庭やオフィスでよく使われるアルコール以外にも、柿渋や紫外線、オゾンなど、効果があるという研究成果が発表されています。次々に出てくる方法の有効性や安全性は、どう判断したらよいのでしょうか。

◎柿渋、実は防臭効果の期待されるボディシャンプーに含まれています。いま世界中をパニックに陥れているウイルスですが、こういう意外なものに弱いのかもかもしれません。もとより紫外線の消毒作用は広く知られているところです。なお、この記事は有料会員記事です。続きを読むため会員となる場合は自己責任にてお願いします。

▼寒冷地のコロナ、増加傾向に 本格的な冬への備え 積極的な換気、一定の湿度を

産経ニュース 2020年11月3日

<https://www.sankei.com/life/news/201102/lif2011020044-n1.html>

寒冷地で新型コロナウイルスの新たな感染者が増加傾向にあり、北海道や宮城県ではこのところ、過去最多の感染者数を更新している。北海道東北地方知事会議は「寒冷対策で気密性の高い住宅が多く、感染防止のための換気が難しい」と地域の特性を指摘するが、本格的な冬を迎えるにあたって、その対策は全国的に起きることに重なる。

◎専門家はコロナ対策として、部屋を暖めて積極的に換気をし、手洗いも大切で、室内でもできる限りマスクを着用すべきだとしています。また、湿度30%では、60~90%のととき比べ2倍以上の飛沫が到達するこ

種する方針だ。米ファイザーが治験の最終段階で9割を超える予防効果を確認するなど、ワクチンへの期待が高まっている。ただワクチンは万能ではない上、予防効果が数カ月しか続かない可能性も指摘されている。

▼予防接種法改正案など可決 コロナワクチン無料に一衆院本会議

時事ドットコム 2020年11月19日

<https://www.jiji.com/jc/article?k=2020111900863&g=soc>

新型コロナウイルスのワクチン接種無料化を柱とする予防接種法改正案などが19日の衆院本会議で、全会一致で可決された。参院審議を経て、今臨時国会で成立する見通し。法案では、製薬企業からワクチン供給を受けやすくするため、接種で健康被害が出た際の賠償を国が肩代わりする契約を国が企業側との間で結べるようになる。国民には接種の努力義務が生じる。副作用による被害が出た場合に備えた救済制度も整備する。19日の衆院本会議では、感染した入国者の隔離入院などの措置について、来年2月以降最大1年延長できる検疫法改正案も可決された。



とが分かり、飛沫感染を考慮すると、加湿の重要性も指摘されています。難しい季節がやってきますね。

▼増えるコロナ専門病棟 一般の外來診療しない県立病院も

朝日新聞DIGITAL 2020年11月18日

https://www.asahi.com/articles/ASNCL6DBWNC6ULZU003.html?iref=comtop_7_01

新型コロナウイルスに感染した患者だけを診る病院や病棟が各地にできています。ほかの病気の患者らに感染を広げるリスクが低くなり、周囲の医療機関の負担を減らすメリットがある。1日あたりの全国の感染者数は18日、最多を更新。本格的な冬の到来に向けて準備が進むが、スタッフの確保などの課題もある。

◎スタッフの確保や経営面など課題も多いと思いますが、このような専門病院が身近にあれば、他人に感染させないかと不安になりながら通院しないですむのではないかと思います。国と民間がお互いに協力してこのような拠点ができればと思います。

▼介護報酬の改定 議論難航も コロナで事業所経営に打撃の中

NHK NEWS WEB 2020年11月7日

https://www3.nhk.or.jp/news/html/20201107/k10012700141000.html?utm_int=nsearch_contents_search-items_002

新型コロナウイルスは介護事業所の経営に大きな打撃を与えています。国は今、事業所に支払う「介護報酬」の改定議論を進めていますが、現場からは報酬の引き上げを求める声が相次いでいます。

◎介護の現場では、新型コロナウイルスの感染を恐れた高齢者が利用を控えたり、事業所がリスクを抑えるために利用者数を制限したりする動きがあるため、介護事業所の経営が悪化しています。介護報酬を引き上げないと事業を存続できないとのこと。歯科や医科も苦戦を強いられているようですが、どうでしょうか。



▼コロナ感染者への差別 専門家“感染対策に影響 社会に有害”

NHK NEWS WEB 2020年11月12日

https://www3.nhk.or.jp/news/html/20201112/k10012709001000.html?utm_int=news_contents_news-main_002

新型コロナウイルスに感染した人たちに対する差別によって、深刻な人権侵害が起き、感染対策などにも影響が出ているとして、国のワーキンググループは差別的な行為によって法的な責任を問われる場合があることを周知するなどの対策を国に求める報告書をまとめ、12日、政府の分科会に示しました。

◎我々もいつ差別する側、差別される側になるかも分からないのが新型コロナウイルスです。対人で仕事をする私たちは心しなければなりません。



▼消毒液を「空容器」と称して転売、40本で6万円売り上げ

yomiDr 2020年11月10日

https://yomidr.yomiuri.co.jp/article/20201110-OYTEW642275/?catname=news-kaisetsu_news

愛知県警は9日、同県西尾市の自称アルバイトの女(44)を国民生活安定緊急措置法違反容疑で名古屋地検に書類送検した。発表では、女は今年7月24日、同県蒲郡市内のドラッグストアで2671円で購入した消毒用アルコール(300ミリ・リットル)3本を、インターネットのフリーマーケットサイトに空の容器と偽って出品し、名古屋市内の男性に4800円で転売した疑い。

◎いまだにこんなことをしている人がいたなんて…。それにしても空容器にしては少し高すぎませんか? すぐ足がつくような嘘をよくつけたものです。



▼冬のボーナス 半数の企業 去年より引き下げ 新型コロナ影響か

NHK NEWS WEB 2020年11月10日

https://www3.nhk.or.jp/news/html/20201110/k10012704911000.html?utm_int=nsearch_contents_search-items_008

新型コロナウイルスの感染拡大で雇用への影響が広がる中、労働組合でつくる団体が、この冬のボーナスについて企業などからの回答状況をまとめたところ、およそ半数で、去年より引き下げられたことが分かりました。

◎新型コロナウイルスの影響のため、業績が悪化し、冬のボーナスは過去10年で最も低くなっているようです。特に中小企業で、ボーナスが大幅に減額されるケースが多くなっています。会員の先生方の歯科医院はどうでしょうか。



▼コロナウイルス「武漢より前にイタリアで拡散していた」…イタリアの研究発表

yomiDr 2020年11月16日

https://yomidr.yomiuri.co.jp/article/20201116-OYTEW646795/?catname=news-kaisetsu_news

イタリアの国立がん研究所は、新型コロナウイルスが昨年9月に国内で拡散していたとする研究結果を発表した。イタリアで初の国内感染が確認されたのは今年2月



下旬だった。

◎もしこれが真実だったら、これまでの中国が流行の発信源だという説が覆ってしまい、大騒ぎになってしまいそうです。しっかり精査・検討してもらいたいところですね。

▼はしか、昨年の死者推計20・7万人…コロナで9400万人超がワクチン接種できない恐れ

yomiDr 2020年11月13日

https://yomidr.yomiuri.co.jp/article/20201113-OYT1T50312/?catname=news-kaisetsu_news

世界保健機関(WHO)などは12日、2019年に世界で報告されたはしかの症例数が86万9770人となり、1996年以降最多だったと発表した。死者数は20万7500人と推計されており、2016年から5割増となった。子どもへのワクチン接種が減っていることが、患者や死者数の増加の主な要因という。

◎新型コロナウイルスが流行していることに意識が向いてしまっていますが、そのために他の感染症への対策が後手に回ったり対策されないままになっているようです。難しいとは思いますが、なんとか並行して他の病気への対策も続けていけるようにしたいものです。



▼ALS の治療薬候補を見つける手法、京都大などが開発 AI と iPS 細胞の技術を組み合わせ

京都新聞 2020年11月12日

<https://www.kyoto-np.co.jp/articles/-/410617>

人工知能(AI)とiPS細胞(人工多能性幹細胞)の技術を組み合わせ、全身の筋力が低下する難病「筋萎縮性側索硬化症(ALS)」の治療薬候補を見つける手法を開発したと京都大などが発表した。iPS細胞を使ってさまざまな病気の治療薬候補を見つける手法への応用が期待できる。米科学誌「パターンズ」に12日掲載される。

◎200万種の候補の中から有効とみられる5種の治療薬候補に絞り込むことに成功したというので、他の難病への治療薬を見つける方法にもなるはず。今後に期待が膨らみますね。



▼Muse 細胞“ALS 治療”に光…マウスに効果

テレ朝 news 2020年11月12日

https://news.tv-asahi.co.jp/news_society/articles/000198318.html

ES細胞、iPS細胞に続く“第3の万能細胞”とされる“Muse細胞”は、内臓や神経など、さまざまな細胞に置き換わる能力を持っていることから、心筋梗塞や脳梗塞などで、すでに臨床試験が始まっています。今回、全身の筋肉が動かなくなっていく難病『ALS=筋萎縮性側索硬化症』について、治療の可能性が見えてきました。ALSの根本的な治療法は、まだありませんが、岡山大学の山下徹准教授らが、新たな研究の成果を発表しました。

◎ALSを発症したマウスにMuse細胞を静脈から投与すると明らかな治療効果があったとのこと。しかも



Muse 細胞には腫瘍性がないというので、意外と速く臨床応用されるかもしれません。

▼東京五輪組織委が視察 プロ野球実

証実験終了

産経ニュース 2020年11月3日

<https://www.sankei.com/life/news/201101/lif2011010023-n1.html>

新型コロナウイルスの感染防止策として行われている大規模イベントの入場制限緩和に向け、プロ野球DeN



Aなどが東京五輪の会場でもある横浜スタジアム（横浜市）での阪神戦で実施した3日間の実証実験が1日、終了した。1日の試合は、定員3万2402人の約86%にあたる2万7850人が観戦。

◎東京五輪での感染防止と観客動員の両立を模索する大会組織委員会の幹部からも視察し、球団などから実験内容や感染防止の取組みなどについて説明を受けました。実験では高精細カメラでマスク着用率を調べたり、IT技術で人の流れを把握するなどしたようです。しかしこのような状況で、本当に開催が可能なのでしょうか。今後に注目です。

広報部より連載記事をぼちぼちと発信いたします。気長にお付き合いのほどを。

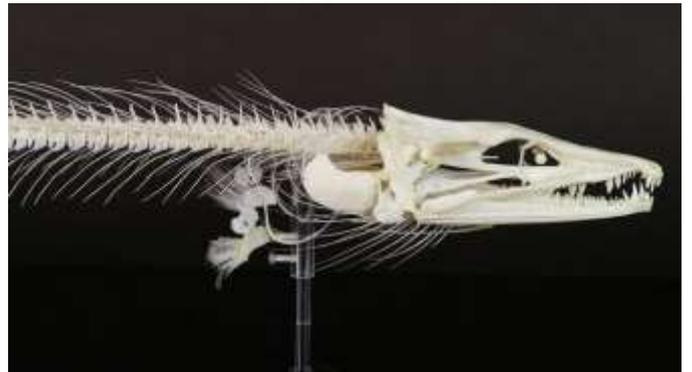
誰もが納得！ I L♥ve 広島弁じゃけえ。

～第14回～ イギってなんだ？

二葉里志さんのクリニックは今日も多くの患者さんの来院があります。いつもはアポイント通りに毎月のメンテナンスに来院する70歳代の女性患者Aさんですが、今日に限ってアポイント外の来院です。新患ではないので受付では問診票をスルーして待合で待ってもらいます。30分待ってもらい、ようやくチェアへ案内すると、Aさんはいつもとは違った慌てた口調でこう言います。「先生、アギにイギが立って取れないです。ご飯を丸飲みしても取れないの！」。

勉強熱心な二葉さんは「広島市歯科医師会だより」の「誰もが納得！ I♥ 広島弁じゃけえ」を愛読しており、「アギ」が口蓋を指すことは勉強済みですが、「イギが立つ」は皆目見当がつきません。（意義？異議？異義？…??）。二葉さんはアギがあってイギがあるので、次はウギ・エギ・オギが来るのかと身構えますが…多分ないです(笑)。

広島県内の高齢者は魚の小骨のことをイギと表現します。本連載のバイブル、「広島県方言の研究」広島県師範学校郷土研究室編によると「イギ＝骨」とありましたが、人骨のこともイギと言うのでしょうか？筆者は「魚の小骨」以外の用途を知りません。また「広島県方言の研究」のイギの隣には「イギヌキ＝鳳仙花(ほうせんか)」との記載も見られます。「なんで？」と思い、Wikipediaでハウセンカを調べてみると、「ハウセンカの種をそのまま飲めば、のどにつまった魚の骨が取れるという伝承が長野県秋山郷にあった」とあるので、広島弁の「イギヌキ＝鳳仙花(ほうせんか)」はこの伝承に大いに関係ありそうです。広島と長野の距離を考えると、ひょっとして故事に由来があるのかもしれないね。



また、Aさんの「イギが立つ」という表現は「スイバリが立つ」と同様に「刺さって気になる」というニュアンスでしょう。ちなみに「スイバリが立つ」は標準語で「トゲが刺さる」になるそうですが、微妙にニュアンスが違うように感じるのは私だけでしょうか(笑)？Aさんのように「魚の小骨が喉に立った時にご飯を丸飲みすると取れる」といい、早食いの筆者もよくイギが立っては母親から「ご飯の丸飲み」を勧められました。しかし「科学的根拠はなく、危険を伴うのでやめた方がいい」との報告も目にしますので、歯科医院や耳鼻咽喉科を受診しましょう。かつては「魚骨除去30点」というのがありましたが、現在は算定項目がないようですので算定出来ないの言うまでもありません(笑)。

また、「小骨が多い」という形容詞形を「イギガマシイ」といい、「この魚イギガマシイのう」という風に表現します。骨切りで有名な夏の味覚、鱧(ハモ)はなんと！3500本もイギがあるそうですので相当イギガマシイ魚ですね。

因みに山口県でもイギ・イギガマシイは使われています。

※参考文献 「広島県方言の研究」広島県師範学校郷土研究室編

※国語学的な知識を持たない一介の歯科医の見解であり、間違っているかもしれません(笑)。

広報部からの豆情報

届出のお願い

医師・歯科医師・薬剤師の
資格をお持ちの皆さまへ

本年は2年に1度の届出年です。

お近くの保健所へ

令和2年12月31日現在の状況をお知らせください。

対象

日本国内に居住する医師・歯科医師・薬剤師の方
※ 現在、就労していない方も含みます。

届出の期限

令和3年1月15日（金）まで



Q & A

Q 届出をしなければいけないのですか？

A 日本国内に居住する医師・歯科医師・薬剤師の方は、医師法、歯科医師法、薬剤師法により、2年に1度厚生労働大臣に届出をすることが義務づけられています。

Q この届出はどのようなことに使われていますか？

A 「医師・歯科医師・薬剤師統計」として集計され、医療行政施策において、有効に活用されています。

また、届出票の活用に同意いただいた届出票は、各都道府県において医師や薬剤師の確保対策等、歯科医師の適正配置の検討等に活用されています。
なお、2年ごとの届出を行わないと「医師等資格確認検索システム」に氏名等が掲載されません。

Q 届出票が手元にないのですがどこで入手できますか？

A 最寄りの保健所までお問い合わせいただくか、厚生労働省ホームページからダウンロードをお願いします。

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/iryuu/sanshi_todokede.html



ひと、くらし、みらいのために
厚生労働省





FM ラジオ「FM ちゅーピー76.6MHz」サイマルラジオスタート

「お口の健康広場デンタルパーク」 広島すまいるパフェ 第1・3水曜日午後0時50分から

12月2日放送分

「酸蝕症について」

広島市歯科医師会 田中 尊治氏

歯に穴が開いたり、歯の色が変わったりするのは、虫歯だけではなくありません。お口の中が酸性になっている人は、「酸蝕(さんしょく)症」という疾患になるリスクが高くなり、重症になると、虫歯ではなくても歯に穴が開くことがあります。広島市歯科医師会の歯科医師、田中尊治さんが酸蝕症について詳しく話します。

12月16日放送分

「ドライマウスに注意」

広島市歯科医師会 小林 裕子氏

新型コロナウイルスの感染対策でマスクをすることが多い毎日ですが、気付かないうちに唾液分泌量が減少してドライマウスになっているかもしれません。広島市歯科医師会の歯科医師、小林裕子さんが、ドライマウスになるとどんな症状が出るのか、なりやすい人はいるのかなど、原因や症状を解説し、対策を説明します。

チャンネル登録をお願いします！

YouTube を開き「広島市歯科医師会広報」と検索してみてください。「広島市歯科医師会のロゴ」と「一般社団法人広島市歯科医師会から市民の皆様にお送りするチャンネルです」が見つけれられるはず。広報部では有用な情報を動画で提供する目的で YouTube チャンネルを開設しました。「FM ちゅーピー76.6MHz のお口の健康広場デンタルパーク」、7月放送分からアップを始めましたのでご報告いたします。今後はラジオ番組のみならず幅広く広報活動に活用していく所存ですので、「**チャンネル登録**」(←ここ重要！)して有効にご活用ください。なお6年前に作成した昔のチャンネルと区別するために【公式】広島市歯科医師会 と【公式】をつけておりますので、間違わないようにこちらの方の「チャンネル登録」をお願いします。

10月7日放送分

「虫歯にならないために」

広島市歯科医師会 大塚 道征氏

<https://youtu.be/b9N5Aij0veg>



10月18日放送分

「自分の歯で一生かむために」

広島市歯科医師会 山崎 利恵氏

https://youtu.be/2XJD_I-Dqu0



会長コラム10月号でお話した、広島市による新型コロナウイルス影響事業者緊急支援事業「広島は決して屈しない！プロジェクト」から得た助成金を用いて制作した、新型コロナウイルス感染対策啓発ビデオ「不安な？歯医者」が完成し、YouTube上で公開しました。

広島出身のさいねい龍二さんと岡崎花帆子さんにご出演頂きました。さいねいさんは、「特撮戦隊デカレンジャー」の主演として有名な俳優さん、岡崎さんは、広島ホームテレビホームシスターズを経て地元テレビなどで活躍中のタレントさんです。

広島口腔保健センターでの収録を予定していましたが、収録に丸一日かかること、出演者のスケジュールの都合で、センターでの収録が不可能になり、やむを得ず私のクリニックで収録しました。熊谷歯科と書いてある掲示物などをすべて撤去し、広島市歯科医療福祉対策協議会の白衣を着て収録しました。

収録は、朝6時半から開始し、夕方までかかる本格的なものでした。私は人前で話すことにはそこそこ慣れているという自負があったのですが、真剣勝負の俳優さんとのセリフのやり取りは、予想以上に緊張するもので、短いセリフがでてこず、NGを繰り返すという緊張感を味わいました。

日歯メールマガジン11月23日号で、日歯広報担当常務理事である小山茂幸先生が、「デジタル駆使し話題性狙った広報戦略」と題したコラムで、以下のように述べられています。

「広報活動を行って正しい知識を広く生活者に浸透させるためには、『注目されるかどうか』=『何でもいいから話題になる』ことを目指したものにすることが重要である。つまり、『ちょっと変わったもの』を作る必要があるのだ。批判的な意見がある程度出るくらいのものでないと注目されにくく、関係者の『制作した』という自己満足で終わってしまう。頭に入れておかなければならないのは、制作することは目的でなく手段であり、常に本来の目的を明確にして、作戦を練る必要がある。」

今回の動画は、全国の歯科医師会などが行っている広報とは「ちょっと変わって」おり、さまざまなご意見があろうかと思いますが、「注目される」には十分な完成度ではないかと思っています。事実、公開するや原稿を書いている時点で、NHKや中国新聞などから取材の申し込みがありました。NHKのディレクターからは、「とても良い動画だと思う。歯科医師会がこのような取り組みを

会長コラム (第15回)

柔しく剛く

不安な？歯医者

熊谷 宏

していることを動画とともに番組で紹介したい」との申し出も頂いているところです。

小山先生のコラムにもあるように、今回の動画もYouTubeへのアップが終わりではなく、周知に向けたこれからの活動が重要だと感じています。会員の先生方には、先日お送りしたチラシを待合室においていただくなど、広く動画の周知をしていただき、市民の皆様には歯科治療の安全性、新型コロナウイルス感染症へのおくちの健康の大切さなどについてご理解いただくことができればと考えています。

最後に、本動画の制作に奔走してくれた、広報部水内理事をはじめとする広報部の皆さまには改めて感謝の意を表したいと思います。

新型コロナウイルス感染症対策、本会のこれまでの取り組み

(2020年11月)

新型コロナウイルス感染症対策これまでの経緯(2020年11月1日～11月30日)

世界・日本での経過	2020年	広島市歯科医師会での対応
三宅島で初の感染確認	11月2日	
雇用調整助成金、1月以降も継続へ(厚労相)	11月4日	
突然変異した新型コロナウイルスがミンクから人に感染(デンマーク)	11月6日	「8020」いい歯の表彰式及びグランドビューティフル歯ッション賞認定証授与式
米、新規コロナウイルス感染者が過去最多の12万人超に	11月7日	
感染者が全国で約3ヶ月ぶり新たに1330人 ・感染者数 世界：49,832,655人 日本：107,086人	11月8日	
新型コロナ感染者数、世界で5000万人超	11月9日	
日本医師会会長”第3波と考えるもいい”感染者急増続けば医療体制逼迫と訴え	11月11日	
現在流行しているウイルス”武漢確認”より感染力強い(東京大学・河岡義裕教授など)	11月13日	コロナ関連動画打ち合わせ
7月～9月のGDP成長率、4期ぶりのプラス ・感染者数 世界：54,370,165人 日本：118,136人	11月16日	コロナ関連動画打ち合わせ
米「モデルナ」ワクチン有効性94.5%と発表	11月17日	
伊”コロナ”去年9月時点で拡散か	11月18日	
ファイザー”ワクチン臨床試験”完了…緊急の使用申請へ	11月18日	
”コロナワクチン無料”法案 衆議院本会議で可決	11月19日	
米カリフォルニア州、夜間の外出禁止令へ	11月20日	動画公開「不安な？歯医者」
新生児のSARS-CoV-2感染はまれ(英)	11月21日	
大阪で新たに490人感染 4日連続で過去最多を更新	11月23日	
無症状の新型コロナ感染白血病患者が70日間ウイルスを排出(米ワシントン州カークランド)	11月25日	
介護施設の過密度がCOVID-19死亡率に関連(カナダ・オンタリオ州)	11月26日	
東京で570人が新たに感染 1日あたりも高齢者も最多	11月27日	
・感染者数 世界：62,244,157人 日本：144,653人	11月29日	

集計元情報：Johns Hopkins 大学、厚生労働省、各自治体
※以前のものは前号参照

会員ひろば

新入会員紹介



この度、広島市歯科医師会に入会させて頂きました土江雄治朗と申します。

父、土江健也の葬儀から今回の私の入会まで、甲野峰基県歯会長、熊谷宏本会会長をはじめ、執行部の諸先生方、事務局のスタッフの皆様には多大なるお手数、お世話様に与り大変感謝しております。誠にありがとうございました。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

私は、日本歯科大学卒業後、東北大学にて研修を修了し、東北大学大学院矯正学講座に入局、

土江 雄治朗 学位および認定医を取得いたしました。

あと1～2年、臨床を経験し、広島にて矯正治療をと考えておりましたが、父の死により、急遽父の歯科医院を継承することとなりました。

まだまだ未熟者ですので、諸先生方に御指導いただきながら歯科医師として今後さらに成長していけたらと考えております。今後とも御指導御鞭撻の程宜しくお願いいたします。

11月定例理事会報告

「部外報告」

- 10月29日 「広島は決して屈しない！プロジェクト」第1号動画収録
〃 オンライン資格確認端末について業者との面談
〃 (県)会員面談
〃 (中止)令和2年度学校歯科医協議会
11月2日 社会保険診療報酬支払基金再審査
11月6日 「8020」いい歯の表彰式及び
グランドビューティフル歯ッション賞
認定証授与式
11月7日ー Web公開講座「子どもの食べる機能
15日 の発達を支援するために」
YouTube 配信
11月16日 広島赤十字・原爆病院地域医療支援病院
運営委員会
11月18日 広島県国保連合会歯科再審査部会
11月19日 新規個別指導に係る立会
11月19ー 広島県国保連合会歯科審査部会
23日
11月19ー 社会保険診療報酬支払基金審査
25日 (合議25日)
11月20日 「広島は決して屈しない！プロジェクト」第1号動画 YouTube 配信開始

(連盟関係)

「総務関係」

- 10月29日 (Web会議)おくちの健康展代替事業
三役打合せ
11月13日 (Web会議)コロナ関連動画について
打合せ
11月16日 (Web会議)コロナ関連動画について
打合せ
11月22日 だより新年特別号打合せ
11月24日 広島市歯科医師会選挙管理委員会
〃 三役会
11月25日 定例理事会

(慶弔関係)

- 11月13日 広島市優良技能労働者表彰
川原歯科医院 小林智保美
なべしま小児歯科医院 橋本千穂
石田歯科矯正歯科クリニック 大坪保子
11月17日 南区支部 三保浩一郎先生
広島市長表彰(保健医療事業功労)
11月20日 広島市学校保健功労者表彰
中区支部 上川克己先生 本山智得先生
西区支部 椿田直也先生 三戸敦史先生
〃 永年勤務学校歯科医表彰
中区支部 鎌田一道先生 石嶋誠司先生
東区支部 古宅康久先生
南区支部 小谷博夫先生
西区支部 今田和秀先生
11月26日 南区支部 小田正秀先生
広島県知事表彰(歯科保健活動功労)

(入会退会関係)

- 10月31日 中区支部 長崎昭憲先生任意退会

(県歯医学会関係)

- 11月5日 県歯医学会

(1) 総務部 (森本理事)

- 10月30日 (県)会員面談
11月9日 令和2年度第1回医療安全推進協議会
11月10日 定例委員会
11月12日 (県)保険部常任委員会
11月14日 (県)会員面談

(2) 学術部 (花岡理事)

- 11月13日 定例委員会(学術講演会の反省)

(3) 厚生部 (谷理事)

- 11月2日 定例委員会
11月11日 臨時委員会
11月18日 だより新年特別号打合せ
11月22日 だより新年特別号打合せ

(4) 地域歯科保健部

- 11月11日 (県)地域保健部、学校保健部、
介護・福祉医療部常任委員会
11月20日 定例委員会

<学校保健> (有馬理事)

- 11月10日 リーフレット小委員会
11月13日 (南区地対協)令和2年度南区の在宅
医療連携を考える研修会
11月20日 令和2年度広島市学校保健会
第2回理事会及び表彰審査委員会
協議会 防災医療・介護連携委員会
・令和2年度定期健康診断について
・令和2年度広島市立保育園歯科健康
診断について
・令和2年度就学時健康診断について
・「子どもの食べる機能の発達を支援
するために」Web講演会について
・学校・保育園への歯科保健資料寄贈に
ついて
・退任学校歯科医、学校歯科嘱託医への
感謝状贈呈について

<地域保健> (若林理事)

- 11月6日 「8020」いい歯の表彰式及び
グランドビューティフル歯ッション賞
認定証授与式
11月17日 リーフレット小委員会(一般)
11月18日 (県)事業所健診(三菱住環境システムズ)

<地域連携> (藤田理事)

- 10月29日 穴吹メディカル医療事務養成講座打合せ
11月5日 西区介護認定審査会
〃 西区地域ケアマネジメント会議
11月11日 令和2年度第4回広島市社会福祉

- 審議会高齢福祉専門分科会
 11月12日 西区介護認定審査会
 // 令和2年度広島市介護予防ケアマネジメント基礎研修
 11月25日 第2回広島市「在宅医療及び在宅医療・介護連携の推進方策の検討」専門委員会

(5) 広報部 (水内理事)

- 10月29日 「広島は決して屈しない！プロジェクト」第1号動画収録
 11月6日 「8020」いい歯の表彰式及びグランドビューティフル歯ッション賞認定証授与式
 11月9日 情報調査委員会
 11月12日 FMちゅーピー収録
 11月13日 (Web会議)コロナ関連動画について打合せ
 11月16日 (Web会議)コロナ関連動画について打合せ
 11月20日 (Web会議)情報調査委員会
 11月22日 だより新年特別号打合せ

FMちゅーピー (新聞掲載)

- 12月2日 「酸蝕症について」
 広島市歯科医師会
 田中 尊治氏
 12月16日 「ドライマウスに注意」
 広島市歯科医師会
 小林 裕子氏

(6) 広島市歯科医師会ホームページについて

ホームページアクセス数
 一般サイト 訪問者 1,422 (累計 161,920)
 ページビュー 34,698 (累計 716,349)
 会員サイト 訪問者 257 (累計 31,055)
 ページビュー 1,340 (累計 227,423)
 広報部 … Talking Heads<最新情報>
 掲載件数 59件(10/21~11/20)

(7) 特別委員会

(8) 救急蘇生委員会

(9) 歯科医療安全相談

- 11月4日 相談 被せ物について(40歳代女性)
 11月5日 苦情 治療内容について
 (70歳代女性)6/11・11/7にも
 同じ内容のTelあり

「協議事項」

- (1) 会費について(2名)
 終身会員資格取得による会費額変更について
 1名承認
 診療所状況変更について1名承認
- (2) 令和2年度・3年度の広島大学病院歯科臨床研修医セミナーについて
 本年度は中止、来年度は春に再考する
- (3) だより新年特別号について
 全体の構成の確認
- (4) おくちの健康展代替動画案について
 現状報告、制作する動画の数を増やす方向で
 継続審議
- (5) 節目年齢歯科健診ポスター案について
 協議、継続審議
- (6) 太田川について
 巻頭言・特集・提言 内容について協議
- (7) 広島市歯科医師会懲戒委員会の設置について
 委員7名の選定に対し協議、承認
- (8) 年賀状送付先について
 宛先について継続審議
- (9) デンタルパークひろしまについて
 ホームページの在り方について協議、継続審議
- (10) その他
 なし

「その他」

特になし

会員の皆様へ

広島市歯科医師会だよりに関するご意見やお問い合わせは、各記事に担当部がある場合は、担当部の理事あてにお願いします。それ以外については、広島市歯科医師会事務局ないしは広報部担当理事水内裕之までお寄せ下さい。

広島市歯科医師会事務局 E-Mail: hiroshima@dentalpark.net

広報部担当理事 水内裕之 E-Mail: mizuuchi.shika@gmail.com

広島市歯科医師会ホームページ

<http://www.hiroshima-da.com/>

会員専用ページ

ユーザー名 : **Futaba**

本会PASS : **2622662**

協議会PASS : **welfare**

投稿記事締め切りは**毎月 25 日**です。

ご協力をお願いします。

事務局までメール(上記)投稿

お願いします。

広島市歯科医師会の住所及び連絡先

〒732-0057

広島市東区二葉の里 3 丁目 2 番 4 号

広島市歯科医師会 TEL : 082-262-2662

FAX : 082-262-2668

休日診療専用電話 TEL : 082-262-2672

